

ボランティア 交差点

～障害があってもなくても 居心地の良い地域社会を～

ゴコチ 「gocochi」

平成24年、自閉症など、発達障害のある子どもたちの家族が集まって「gocochi(ゴコチ)(松尾博子代表)の活動は始まりました。

松尾代表のお子さんが、年長児クラスの際に自閉症との診断を受け、小学4年生の頃には、かなり強いこだわりが出現しました。この頃、同じように悩んでいる親御さんたちとつながり、心地の良い居場所を作りたいとの願いを込めて活動を始めたのが、「gocochi」結成のきっかけでした。

学ぶ・つながる・ひろがる 学習会へ

今年度の主な活動は、発達障害に関する学習会(ついでに講座・市と協働で開催)と、来年2月に行うイベント「PRISMix(プリズミックス)ノーマライゼーションSHOW(ショー)(下段ポスター)です。

学習会は、年間8回、専門家を招き開催します。そこで、発達障害の特性と理論に基づく支援方法を学びます。保護者だけでなく教師や福祉事業所スタッフ等が学びの場を共有することで、家庭と学校・放課後等デイサービスなどで、一貫した支援が受けられるようになることを目指します。

松尾さんは、「この学習会を学ぶ、つながる、ひろがる学習会にしたい。そして障害があっても*リスベクトされる社会

※ノーマライゼーションの考え方を広めていきたい。また、久留米市は、まちを良くしようという気持ちの人が多いため、そういう人達とつながってほしい」と語られます。障害があってもなくても、みんなが居心地の良い地域社会をつくりたいという想いで活動されています。

来年2月26日には、ファッションショーを中心に、ダンスや楽器演奏など様々なライブパフォーマンスを行う参加型イベント「PRISMix」ノーマライゼーションSHOWが開催されます。ユニバーサルで独創的なステージを観にいかれてはいかがでしょうか。

*リスベクト(尊重する・尊敬する)

*ノーマライゼーション

(誰もが平等に暮らせる共生社会の理念)

*ユニバーサル(すべてに共通・普遍的)



期 日:平成29年2月26日(日)
場 所:久留米シティプラザ久留米座(六ツ門町)

【問合わせ】
gocochi
松尾 博子 代表
TEL 090・4997・8111

赤十字探検隊

親子で参加する

赤十字水上安全法教室



ペットボトルを使って浮く練習

7月27日(水)、日本赤十字社久留米市地区では、市内の小学生とその保護者を対象に、久留米赤十字会館(宮ノ陣)で水上安全法教室を開催しました。

参加した親子は、水難事故時の対応等を学習した後に、服を着てプールに入り、水着で水に入る時との動きの違いを体験しました。また、ペットボトルやランドセル等身近なものを浮き具がわりにする体験など、親子で楽しみながら水上安全法を学ぶことができ、夏休みの貴重な思い出になりました。